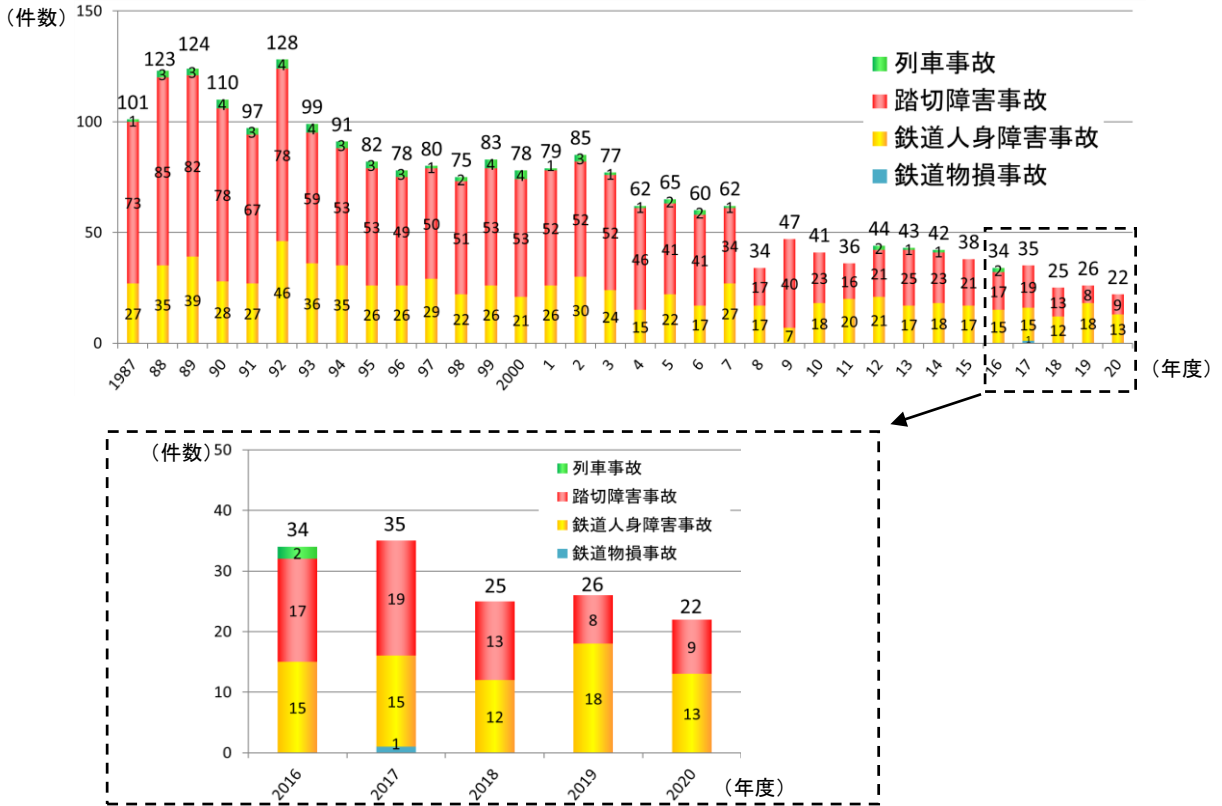


5-1 鉄道運転事故

2020年度は、鉄道運転事故が22件発生しましたが、JR発足後で過去最少でした。また列車事故の発生はありませんでした。

■鉄道運転事故の発生状況

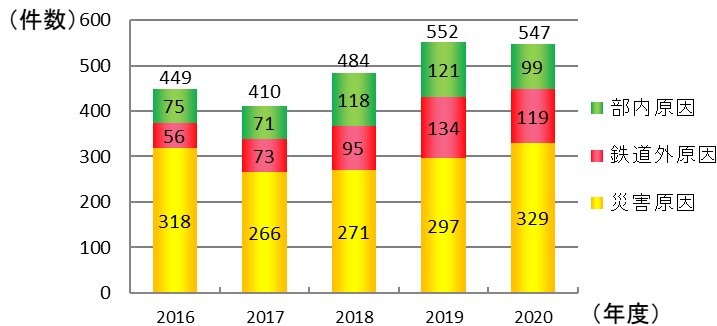


鉄道運転事故	説明
列車事故	列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故
踏切障害事故	踏切道において、列車又は車両が人又は自動車等と衝突し、又は接触したもの
鉄道人身障害事故	列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの
鉄道物損事故	列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じたもの

5-2 輸送障害

輸送障害とは、鉄道運転事故以外の原因により列車の運休または旅客列車が30分以上、旅客列車以外の列車が1時間以上の遅延を生じたものをいいます。2020年度は547件発生しました。

■輸送障害の発生状況



輸送障害	説明
内部原因	鉄道関係係員や車両・設備等、当社の直接原因によるもの
鉄道外原因	線路内立入り等、当社の原因によらないもの
災害原因	降雨、強風、地震、獣害等の災害に起因するもの

の鉄道運転事故等の発生状況

5-3 インシデント

インシデントとは、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。
2020年度は、施設障害及び車両障害に分類される事象が2件発生しました。

●日豊本線 亀川駅～別府大学駅間 遮断桿が降りていない踏切を列車が通過

発生日時：2020年5月7日 9時01分頃

発生場所：日豊本線 亀川駅～別府大学駅間

概況：上人踏切の警報持続を調査した際、上り列車の接近時に踏切の回路を短絡させたことで、列車が到達する手前で踏切警報の鳴動が停止し、踏切が遮断していない状態で列車が通過した。

原因：踏切の回路を短絡させたことで列車が踏切道に到達する手前で鳴動停止したため。

対策：踏切動作時には、機器の接点間への測定器の挿入を原則禁止とすることを規程に追記するとともに関係社員への周知を行った。